

第9号 土木事務所から見た日吉地区

組長総会の挨拶要旨

日吉町自治会

会長 片野芳昭

会員の皆様におかれましては、常日頃自治会活動にご理解とご協力を頂きまして厚く御礼申し上げます。

去る三月十一日の東日本大震災に際し、港北区連合町内会、社会福祉協議会共催の義援金募集には多くの方から温かいご協力を頂き、深く感謝申し上げます。

二十二年度の新しい取組みとして①日吉町公会堂と不動尊への階段の改修工事。②新入学児童への祝い品の配布。③自主防災検討委員会として第二回目の要援護希望者の名簿作成（九九名）。④近隣助け合いの一環として自治会各種団体の意見交換会。⑤駅前花ポケットへの参加を実施しました。

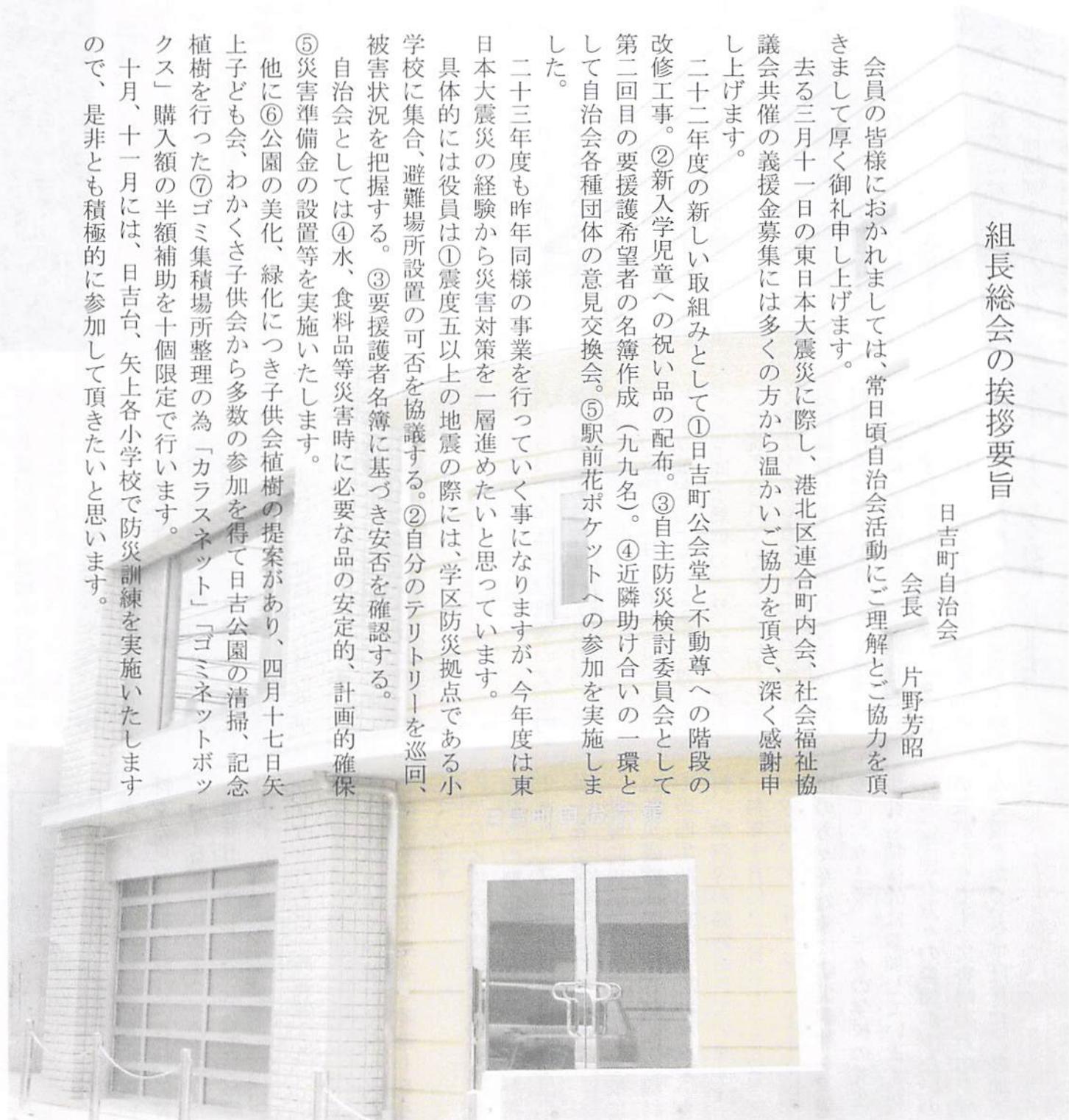
二十三年度も昨年同様の事業を行っていき事になります。今年度は東日本大震災の経験から災害対策を一層進めたいと思っております。

具体的には役員は①震度五以上の地震の際には、学区防災拠点である小学校に集合、避難場所設置の可否を協議する。②自分のテリトリーを巡回、被害状況を把握する。③要援護者名簿に基づき安否を確認する。

自治会としては④水、食料品等災害時に必要な品の安定的、計画的確保⑤災害準備金の設置等を実施いたします。

他に⑥公園の美化、緑化につき子供会植樹の提案があり、四月十七日矢上子ども会、わかくさ子供会から多数の参加を得て日吉公園の清掃、記念植樹を行った⑦ゴミ集積場所整理の為「カラスネット」「ゴミネットボックス」購入額の半額補助を十個限定で行います。

十月、十一月には、日吉台、矢上各小学校で防災訓練を実施いたしますので、是非とも積極的に参加して頂きたいと思っております。



土木事務所としての日吉地区

港北区役所 港北土木事務所長

遠藤 尚志

五月一日より港北土木事務所長となりました。

地域の皆様の生活に密接に関係する公園や道路などの公共施設の維持や管理を担う職場に着任し、重大な責任を感じています。重なりがいを感じています。

日吉町自治会の皆様にはどうぞよろしくお願いいたします。

着任早々で各地域の把握も十分ではありませんが、土木事務所としての日吉地区について印象を含め、述べさせていただくとともに、今後、いろいろなご意見をお聞きして日吉地区の町づくりを一緒に考えていきたいと思えます。

(日吉について)

やはり東急電鉄日吉駅を中心として開発され、発展した街で、日吉からは横浜にも東京の複数の都心にも交通至便であり、又、慶応大学や日大高校などといった広域的に有名な文教施設もあって、首都圏においても非常に人気の高い住宅地です。

今後グリーンラインの整備効果

開通などによって、いっそう便利

になり、高い開発圧力も続くのではないかと思います。

一方、東急の沿線開発以来八〇年を超える長さから地域文化もそれを支える人材も充実している印象があります。

(日吉の道路環境)

早く開発されたにもかかわらず(逆に早く開発されたためか)幹線道路の整備は非常に遅れており、綱島街道の拡幅も思うように進んでいません(※日吉駅前の拡幅工事は近隣の皆様に多大なご迷惑をおかけしています)先送りされた綱島街道整備の全面的な事業決定も川崎側も進んできていますので早急に進める必要があると感じています。

またバス道路の改善についても多くの地域の皆様のご意見をいただいています。十分な歩道のあるところも少なく、安全でスムーズな道路環境とは言えない状況もあります。

これらの課題に対しては、一方通行化などの交通規制や、安心カラーベルトなどの歩行者対策を採って

行く必要があります。地域の皆様からいろいろなアイデアをいただくとともに協力して進めていきたいと考えています。

(日吉の公園、みどり環境)

東横線で都内から横浜(日吉)に入ると途端にみどりが増して息が抜ける気がします。

また、先ほど、地域の人材の充実といいましたが、内部からの話では、公園愛護会などの活動では、皆様に大変お世話になっていると聞いており、これからもよろしく願います。

(今後のまちづくり)

まちづくりはその地域の文化的な水準がある程度示すものだと思います。

その意味で「日吉駅前花壇」の取り組みは駅前にさわやかで憩いのある空間を無償のボランティアとして提供されていることに対し、深く敬意を感じるとともに、この取り組みに協賛していただいている日吉町自治会に対しお礼いたします。

このようなまちづくりが日吉のみならずいろんな場所です。展開されることがわが国、横浜市の文化水準を高めることと感じています。よろしく願います。

ご存知ですか

東日本大災害から三ヶ月余、近い将来の東海地震も取沙汰され、災害に対する関心も高まっています。

横浜市では、大災害が発生した時①先ず近くの学校や公園等広くて安全なところに一時避難する。(広域避難場所と称す)

②自宅が火事や倒壊で生活出来ない時は地域防災拠点に避難するとしています。

当日吉地区の広域避難場所は、日吉駅前の慶応大学キャンパスが指定され、又地域防災拠点は日吉台、矢上各小学校とされています。

地域防災拠点の二つの小学校には防災備蓄庫が設置され、防災機材や当面生活出来ると思われる水、食料、物資等が備蓄されています。

毎年十月には、日吉台小学校学区の方々、十一月には、矢上小学校学区の方々を対象に防災訓練を実施しております。夫々の学校の先生、生徒も積極的に参加していますが、近年、住民の方々の参加が少ないのが気がかりです。災害時の対応を学んで頂きたく、今年は是非ご参加下さい。

―篠原城―

今回は、今年の初めにマスコミで報道され話題になった篠原城址について

篠原城は、戦国時代の北条氏の支配下にあった支城で、北条氏は相模武蔵に版図を拡げ、早雲氏直の五代の間に多数の出城を造り、篠原城は数多ある出城の一つである。位置的にさほど敵国がすぐ隣に

居るわけではなく、あえて想像すれば、築城当時は、甲斐武田氏や上杉氏に備えた山城と考えられる。



篠原城山城をイメージしたイラスト
(ワークショップピリオド提供)



空より望む篠原城址
(ワークショップピリオド提供)

天正十八年(一五九〇)の北条氏滅亡と共に役割を終えたこの城は、人々の記憶から忘れ去られていった。しかし自然の中に埋もれていたこの城が逆に「中世の城郭遺跡として奇跡的に良好な状態で残っている」(国学院大学 伊藤慎二)と

言われているのだ。さて、冒頭のマスコミに報道された話題になった件について、それはこの城跡を形成する土地の一部に私有地があり、それが宅地開発されることになったのだ。

そして本年一月二十九日の開発予定地の発掘調査公開日には、驚くほど沢山の見学者が訪れていた。今回の発掘調査は、宅地造成に先立って行われたもので、防御用の堅

堀や建物跡、カワラケなどが出土している。堅堀などはかなり本気のスケールで、専門家の話では城址全体は非常に良好な状態を保っているとのことだ。

DVD『まぼろしの篠原城』(ワークショップ・ピリオド制作)にナビゲーター&ナレーターとして出演している俳優の五小路さんは「私はこの近くで生まれ育ちました。小さいとき父に連れられよくここにきました。今、周囲は、開発が進み、緑が残っている場所はここだけになってしまった。貴重な歴史の遺産を皆で守っていかなくては」。

この城址の保存を望む関係者が「篠原城と緑を守る会」を立ち上げ、署名運動を始め、五月二十四日時点で七四五〇名余の署名が集まっているという。

しかし、開発許可の下りた現場では建設が進んでいる。なんとも残念な事ではある。

「新しい事実と引き換えに、つまり学術的な成果の代償として開発は進められ、地上から発掘資料は姿を消していく」(『川崎・たちばなの古代史』村田文夫)

氏の惜しんだ古代資料とは、古代律令時代の橘樹郡衛の正倉跡(穀物保存用倉庫)を発掘したことで、この遺跡も埋め戻され、地上から姿を

消してしまった。

「守る会」は「頂いた沢山の署名を力に今後は城址の中心部の保存と周囲の緑保全に力を尽くして生きたい」と言っている。

俳句

豊岡 きみ代

交し合う 言葉静かに 青葉の夜

老鶯の 声ひとしきり 旅の宿

時かけて 嵩なき髪を 洗いけり

梅雨晴れや 軒に雀の 二羽三羽

余生とは 問いつつ庭の 草を引

く

お知らせ

敬老のお祝いについて

毎年、七十五歳以上の方に対し、敬老の意を表させて頂いておりますが、今年も例年どおり、気持ばかりのお祝いをさせていただきます。六月末にてご申告頂きましたが、

お祝いは、民生委員、自治会役員が敬老の日までにお届けする予定です。

組長総会の報告

三寒四温の激しい今年の春でしたが、当日は汗ばむような暑い日となりました。

出席者は、昨年に比べやや少なくなりましたが、用意された椅子はほぼ埋まり、定刻、横山総務部長の司会で開会しました。

組総数二五二組の内、出席者三五名、委任状提出者一七五名にて総会は成立、同氏を議長に選任後、議事が始まりました。

冒頭、会長より挨拶と共に、先般の東日本大災害義援金募集につき、会員皆様よりの多額のご寄付についてお礼の報告があり、その後平成二十二年度事業並びに決算報告、会計監査報告、平成二十三年度事業計画並びに予算案が審議され、出席者全員の賛同を得て議案は全て可決、懇親会に移りました。

詳細は、六月回覧の「平成二十二年 度日吉町自治会組長総会決議事項の報告」をご覧頂きたいと思いますが、この度の災害に学び、今年度より防災準備金を積み立て、防災体制の強化を図る事としました。

二十二年度的一般会計、特別会計合算の収支概要は次の通りです

組長総会風景



| | |
|----------|-------|
| 収入の部 | 六四一万円 |
| 会費 | 一六四万円 |
| 家賃、建物使用料 | 四七〇万円 |
| 補助金 | 七二万円 |
| 広報配布料 | 二七万円 |
| その他収入 | 二七万円 |
| 支出の部 | 二七六万円 |
| 運営費 | 六二七万円 |
| 事業費 | 一一三万円 |
| 建物管理費 | 四〇万円 |
| 保険料、税金他 | 二六六万円 |
| 設備費 | |

最近のトピックス

◆地域活動関係者の合同顔合せ会を行いました。

一月二十二日、自治会役員と広報関係者、関連十四団体を代表する方々五十七名が集い、日吉町公会堂にて第一回の顔合わせ会を行いました。合同の集いは初めての試みでしたが、大変好評でしたので毎年開催予定です。

自治会加入率低下傾向が憂慮されている現在、近隣の人との繋がりは必須のもので、お互い地域活動に携わりながら、初対面の人、顔は知っているが言葉を交わす機会のない人、との交流も図れ、有意義なひと時でした



合同顔合せ会で絆を深めました



植樹会

◆植樹会が行われました

四月十七日晴天のなか、自治会、矢上子ども会、わかくさ子供会合同により、新一年生入学、六年生卒業記念として第一回植樹会が日吉公園にて行われました。

ハナミズキ、ハナモモの苗木を約三十人の子供達と自治会の皆さんで植樹しました。日吉公園内の一角ですが植えてありますのでお近くを通られるときは是非ご覧下さい。

わかくさ子供会

会長 藤原真紀

編集後記

今号には、土木事務所の新所長さんにご投稿下さいました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

又、植樹会は子供たちが、当地を忘れる事なく、樹と共に元気で生きて、将来を担って欲しい願いが込められています。頑張ってください。